

ひるまだより

医療法人社団トモニアム
ひるま矯正歯科
Hiruma Orthodontic Office

発行:ひるま矯正歯科
〒190-0012 立川市曙町2-9-1 菊屋ビルディング2F
TEL:042-526-3376/FAX:042-528-1102
URL:http://www.hiruma.or.jp/

おしらせ

ひるま矯正歯科では、多くの方に質の高い治療と予防歯科を受けていただくために、皆様のご友人やご家族を紹介していただいた際のシステムをリニューアルしました。この機会に多くの方をご紹介いただければ嬉しく思います。

★詳しくはご紹介用のパンフレットをご覧ください。



特集

患者さんインタビュー⑫

「とことん調べて納得できる先生に出会えた」

先生からの指導を忠実に実行し、先生と信頼関係が築けたというKさんにお話を伺いました。インタビューの内容をダイジェスト版でお届けします。全文はホームページで。

◆矯正治療を始めたきっかけを教えてください。

——もともと歯並びが悪く、下あごが小さいのに上の前歯が出ていて、口を閉じても歯が見えてしまうような状態でした。また、左下の奥歯が横に倒れるように生えていたせいか、口内炎になったり熱を出したりなど、トラブルも多かったので治療を決意しました。

◆ひるま矯正歯科に決めた理由は？

——ホームページに掲載されているさまざまな情報からにじみ出る、きめ細やかな

さと誠実さです。メールで相談にに応じてくれるところも親切でよいと思いました。

◆初診のときの印象はどうでしたか。

——思ったとおりすごく親身な先生で、ちよつとした質問にもていねいに答えてくれ、「この先生ならおまかせできる」と実感しました。検査の結果、治療に4〜5年かかることや、親知らずを含め8本もの抜歯が必要なこと、歯茎に埋まっている親知らずを手術でひっぱり出して神経のない7番のかわりとして矯正していくことなどを説明されました。

◆治療はいかがでしたか。

——左下奥の倒れた歯にも装置をつけていただいたのですが、通院することにより、その歯が魔法をかけたみたいにとんどん上がって元の状態に戻りつつあるのが実感できて、すごくうれしかったですね。治療を始めてから口内炎や発熱もなくなり、「やっぱりこの歯のせいだったんだ」という感じでした。口の中と体って、つながっているんだなあとしみじみ思いました。

◆矯正治療をしてよかったですか。

——本当に良かったです。歯周病も治り歯並びもきれいになって、いいことづくし。大きな口を開けてムダに笑いたいくらい(笑)うれしいです。4才の娘の歯の定期検診も書面先生にお願いし、今は親子で通院しています。

◆ひるま矯正歯科で治療をしてよかったですか。

——私の場合、とことん医院探しをした結果、自分が納得できる先生に出会うことができました。矯正治療を考えている方は、医院選びが大変だとは思いますが、まずはとにかく、自分が納得するまで調べてみることに大切だと思います。

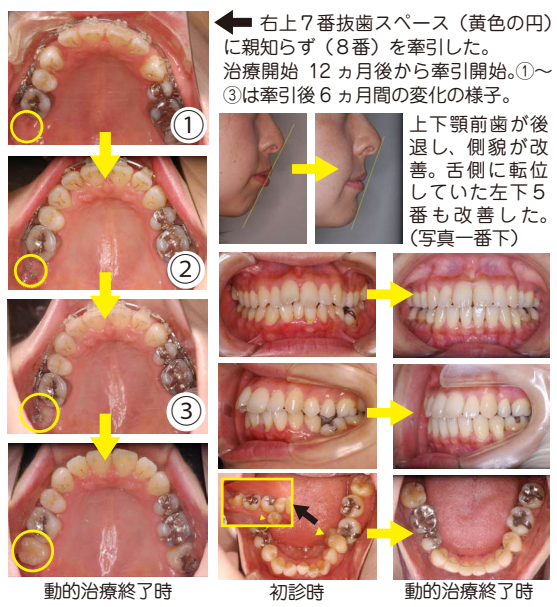
「やっぱりこの歯のせいだったんだ」という感じでした。口の中と体って、つながっているんだなあとしみじみ思いました。

歯並びが悪いことで起こっていたトラブルも解消され、健康的な笑顔を手に入れたKさんでした。(N)



Kさんの症状について解説します

●初診時の診断：「上突歯列・上突咬合・叢生歯列・下後退顎」
Kさんは上顎歯列に対して下顎歯列は後方に位置し、上顎前歯は唇側に傾斜し、叢生(乱杭歯)は顕著で特に左下5番が舌側(内側)に転位しています。その遠心に位置する左下6番は近心に大きく傾斜していました。
治療方針としては抜歯による矯正治療の適応となり、抜歯部位は上下左右8番、上左右と下右4番、下左5番が理想的と思われました。しかし、上右7番が失活歯であり上右8番が存在している事から上右7番を抜歯し上右8番を牽引、下左4番が失活歯である事から下左4番を抜歯し下左5番の舌側転位を改善し保存する方針としました。矯正治療開始前の初期治療として、全顎的な歯石除去、PMTC、歯ブラシの指導を行い口腔衛生状態の改善を行いました。
治療結果は、上下顎前歯が後退した事で口唇閉鎖が容易となり、口唇閉鎖時の緊張感が改善しました。緊張感が改善した事でオトガイも明瞭となり側貌も改善。叢生、上顎前歯の唇側傾斜は改善され、上下顎の全ての歯が効率よく接触する安定した咬合を得る事ができました。



← 右上7番抜歯スペース(黄色の円)に親知らず(8番)を牽引した。治療開始 12 ヶ月後から牽引開始。①～③は牽引後 6 ヶ月間の変化の様子。

上下顎前歯が後退し、側貌が改善。舌側に転位していた左下5番も改善した。(写真一番)

動的治療終了時 初診時 動的治療終了時